

大津町議会 議会活性化特別委員会行政調査

氏名 大村 裕一郎

視察研修名：大津町議会議会活性化特別委員会行政調査

視 察 先：岩手県陸前高田市、奥州市、北上市

期 日：令和6年5月8日（水）～10日（金）

研修テーマ：議会活性化の取り組みについて（議員定数や議員報酬など）

研修報告 意見・感想

今回の研修では、議員の報酬や定数、議会の活性化（ICT化）を学ぶために研修を行った。

1) 陸前高田市

陸前高田市においては、震災を契機に議員の仕事量が増えている地域である。しかし、なり手不足解消のため2023年の選挙より定数を減らしている。減らすまでには、委員会の人数が減ることで成り立つのか等の意見が出ており大津町議会においても協議すべきだと感じた。

また、年数回の議会報告会に関しては、住民との接点作りという点や住民に対する説明責任を果たすという点においても非常に重要であるため大津町議会でも開催するべきではないかと考える。

2) 奥州市

奥州市に関しては、議長マニフェストを公表し、PDCAサイクルに乗せて議会活性化を行っているのが印象的だった。特に活性化を行う上での行程表の公表など非常に住民から見ても分かりやすく広報されていた。また、奥州市では議会改革検討委員会として長い期間活動されており、大津町においても一時的ではなく議会活性化特別委員会の常設化を図るべきではないかと感じた。そして、SNSによる議会情報発信に関しても、紙媒体が届きづらい住民の方向けに早い段階で開始すべきだと考える。

3) 北上市

北上市においては、報酬を月5万円上げて、定数は据え置きされていた。報酬に関する考え方に関しては大津町にも通ずるものがあったが、何より住民からの意見聴取に時間をかけているところが印象的だった。意見交換の方法に関してもワークショップ形式でされていたり、特定の団体の型とされていたり、ワールドカフェ形式でされていたり様々な手法で取り組まれており、ぜひ大津町議会でも取り入れるべきだと感じた。また、議員の活動量調査を長い期間継続してされており、そこに関しても取り入れるべきだと感じた。